

科目名	電気情報工学ゼミナール	英語科目名	Seminar in Electric and Information Engineering
開講年度・学期	平成22年度・通年	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻 電気情報コース1年
授業形態	実習	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	学修単位(90h)
担当教員	担当教員	居室(もしくは所属)	電気物質棟1階・2階・専攻科棟5階
電話		E-mail	
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題意識を持って事に当たり、自らその解決方策を調査・検討できること。</li> <li>2. 調査内容に基づいた討論・主張等を展開し、要点を整理する能力を身に付ける。</li> <li>3. 調査結果をまとめ、かつ、他に伝達する能力を身に付けること。</li> </ol>			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーマに関する適切な教材の入手および活用要領を評価する。</li> <li>2. 論理の展開に筋道を立て、要点を整理する能力を評価する。</li> <li>3. 適切な発表方法を選択し、自分の主張を第三者に正しく伝えるコミュニケーション力を評価する。</li> </ol>			
評価方法			
テーマに関する適切な教材の選択要領および理解度、発表方法・要領・内容について理論的、技術的観点から総合的に評価する。			
授業内容			
<p>基本的には、特別研究・指導教員の指導の下に実施する。</p> <p>主なテーマ(指導教員)は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○電子材料の基礎物性とその応用に関するテーマ(森)</li> <li>○人間の聴覚特性と音響信号処理(小林)</li> <li>○レーザー加工技術(土田)</li> <li>○電気機器、電磁界エネルギーに関する基礎と応用に関するテーマ(鈴木)</li> <li>○データベース構築技術(今成)</li> </ul>			
キーワード	半導体薄膜、電子・光特性、信号処理、レーザー加工、電気機器、電磁界エネルギー		
教科書			
参考書			
小山高専の教育方針①～⑥との対応	⑥コミュニケーション能力の育成		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A-1) 科学や工学の基本原理や法則を身につける。			
(D-2) 実験や調査結果を口頭発表して議論できる。			
JABEE 基準1の(1)との関係	(b), (c), (f)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目			
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 配属された研究室の指導教員の指導の下で、調査・討論・プレゼンテーション等を行う。</li> <li>2. ゼミナールの内容は特別研究を遂行する上で基礎となるものであるから、各分野における理論的・技術的背景を理解するとともに、研究へのアプローチを学ぶこと。外国の文献に親しみ国際感覚を身につけることも大切である。</li> </ol>			
シラバス作成年月日	平成22年2月15日		